

令和元年度(第74回)文化庁芸術祭協賛公演
新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ

ヴェルディ

椿 姫

La Traviata

2019年11月28日(木)~12月7日(土)

会場:新国立劇場オペラパレス 好評発売中



2017年公演より

パリ社交界に咲いた真実の愛。屈指の人気を誇る悲恋オペラ。

世界中で不動の人気を誇る傑作オペラ『椿姫』。華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と哀しい運命を描き、「乾杯の歌」をはじめ、「ああ、そはかの人か〜花から花へ」「プロヴァンスの海と陸」など名曲揃いの人気作品です。ブサールによる美しく洗練されたプロダクションは、誇り高く生き抜いた女性の姿を鮮やかに描き出し、深い感動を誘います。

世界的ソプラノ・パパタナシュ、ペルー発の新星アヨン・リヴァス、注目の出演者の競演

タイトルロールには、ヴィオレッタを当たり役とするギリシャの名花パパタナシュが登場。対するアルフレードは、イタリアをはじめ世界の主要歌劇場に次々デビューしている大型の新星アヨン・リヴァス。指揮のレプシッチは、ヨーロッパの一流歌劇場で指揮している実力派。充実の出演者陣が『椿姫』の真髄を伝えます。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

パリ社交界に咲いた真実の愛。屈指の人気を誇る悲恋オペラ。

世界中で不動の人気を誇る、オペラの代名詞的作品『椿姫』。ガラ・コンサートの定番曲「乾杯の歌」やヴィオレッタの超絶技巧の aria「ああ、そはかの人か～花から花へ」、「プロヴァンスの海と陸」など、誰しも耳にしたことのある名曲の数々が、高級娼婦ヴィオレッタの愛と哀しい運命を物語ります。

演出のヴァンサン・ブサールは色彩にこだわる洗練されたビジュアルの舞台に定評があり、この『椿姫』でもその美的センスを発揮。鏡を用いた効果的な舞台で心象風景を描出し、男性社会に誇り高く生きる女性の姿を印象付けます。

世界的ソプラノ・パパタナシュ、ペルー発の新星アヨン・リヴァス、注目の出演者の競演

注目のタイトルロールは、堂々たる声と舞台姿で、ヴィオレッタを当たり役とするギリシャの名花パパタナシュ。

対するアルフレードは、ペルーから羽ばたき、イタリアをはじめ世界の主要歌劇場に次々デビューしている大型の新星アヨン・リヴァス。指揮のレプシッチは、ミュンヘン放送管弦楽団首席指揮者で、ヨーロッパの一流歌劇場で指揮している実力派。充実の出演者陣が『椿姫』の真髄を伝えます。

<「椿姫」あらすじ>

【第1幕】パリ社交界の華である高級娼婦ヴィオレッタは、肺の病で先が長くないことを悟っている。今夜も自宅のサロンでパーティを開催。ガストン子爵が、青年アルフレードを連れてくる。彼は「1年前にあなたを見て以来ずっと恋している」と真摯にヴィオレッタに告白するのだった。ひとりになったヴィオレッタは、今まで経験したことのない、心からの愛の告白に心ときめくが、たかが愛のために享樂的な人生は捨てられない、と我に返る。

【第2幕】アルフレードとの愛を選んだヴィオレッタは、パリ郊外の田舎で彼と静かに暮らしているが、生活費のため全財産を競売にかけようとしていた。それを知ったアルフレードは競売を止めさせようとパリへ向かう。すれ違いでヴィオレッタが帰宅すると、家にはアルフレードの父ジェルモンが。アルフレードの妹の縁談を成立させるため、息子と別れるようジェルモンは頼む。今は彼との愛だけが生きる希望であるヴィオレッタははじめ拒むが承諾し、別れの手紙を書いて家を出る。事情を知らないアルフレードは手紙に愕然とし、父が「一緒に故郷に戻ろう」と慰めても聴く耳をもたない。アルフレードは怒りが収まらず、夜会の大勢の客の前でヴィオレッタを罵倒する。彼女は絶望に打ちのめされる。

【第3幕】1ヵ月後。死の床に伏しているヴィオレッタ。そこに、父ジェルモンからすべてを聞いたアルフレードが来て、許しを乞い、パリを離れて一緒に暮らそうと語る。ヴィオレッタは愛する人に囲まれ息絶える。



<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】イヴァン・レプシッチ

Ivan REPUŠIĆ

ザグレブ音楽院で学び、ヨルマ・パヌラやジャンルイジ・ジェルメッティのもと研鑽を積む。バーデン州立歌劇場で大野和士、ベルリン・ドイツ・オペラでドナルド・ラニクルスのアシスタントを務める。スピリトのクロアチア国立劇場首席指揮者およびオペラ・ディレクターを務めたのち、ハノーファー州立歌劇場指揮者、ベルリン・ドイツ・オペラ首席客演指揮者などを務め、16/17 シーズンから18/19シーズンまでハノーファー州立歌劇場音楽総監督。17/18シーズンからミュンヘン放送管弦楽団首席指揮者。最近ではベルリン・ドイツ・オペラ『カルメン』『トスカ』『仮面舞踏会』『ルチア』『エウゲニ・オネーギン』、ザクセン州立歌劇場で『椿姫』『トスカ』、ハンブルク州立歌劇場『リゴレット』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』、ハノーファー州立歌劇場『アイダ』『ファウストの劫罰』『さまよえるオランダ人』『サロメ』などを指揮。クロアチアの主要オーケストラのほか、ベルリン・シュターツカペレ、ミラノ・ジュゼッパ・ヴェルディ交響楽団、プラハ交響楽団、スロヴェニア・フィル、ベルリン放送交響楽団などを指揮して、クロアチアの主要音楽祭、ウィーン学友協会ホール、バーデンバーデン音楽祭、ベルリン・コンツェルトハウス、パルマ・ヴェルディ音楽祭などに登場している。今後の予定に、ベルリン・ドイツ・オペラ『仮面舞踏会』『さまよえるオランダ人』、ハンブルク州立歌劇場『トスカ』などがある。新国立劇場初登場。



【演出・衣裳】ヴァンサン・ブサール

Vincent BOUSSARD

1999年コメディ・フランセーズにて演出家デビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、スウェーデン王立歌劇場、ベルギー王立モネ劇場、サンフランシスコ・オペラ、エクサンプロヴァンス音楽祭、インスブルック音楽祭など各地の歌劇場や音楽祭に登場。演出作品には、パーセル『デイドとエネアス』、ヘンデル『テオドーラ』、シャルパンティエ『オルフェウスの冥府下り』、カヴァッリ『エリオガバロ』などのバロック・オペラ、メノッティ『マリア・ゴロヴィン』、ブノワ・メルニエ『春の目覚め』などの現代オペラのほか、『偽の女庭師』『カプレーティ家とモンテッキ家』『カルメン』『蝶々夫人』『サロメ』『アドリアーナ・ルクヴール』『キャンディード』など多岐に渡る。最近では、リトアニア国立オペラ・バレエ『マノン』、ストラスブール・ラン歌劇場で『椿姫』、ザルツブルグ・イースター音楽祭『オテロ』、バルセロナ・リセウ大劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』、ザンクトガレン歌劇場『ローエングリン』、フランクフルト歌劇場『清教徒』、マルセイユ歌劇場『フィガロ』



の結婚』などを演出。幾つかのプロダクションはテレビ放映や DVD 化され、『春の目覚め』はディアパソン・ドール賞を受賞している

【ヴィオレッタ】ミルト・パパタナシュ

Myrtò PAPATANASIU

ギリシャのラリッサ生まれ。テッサロニキ音楽院で学んだ後、奨学金を得てミラノで研鑽を積み、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、アン・デア・ウィーン劇場、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、チューリヒ歌劇場、ベルギー王立モネ劇場、モンテカルロ歌劇場、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、ヴェローナ歌劇場、トリノ王立歌劇場などで活躍。主な出演作品に、メトロポリタン歌劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、パリ・オペラ座『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージと『アルチーナ』タイトルロール、ウィーン国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、モネ劇場『ルサルカ』、ローマ歌劇場『椿姫』『トスカ』などがある。最近ではジュネーヴ大劇場およびリセウ大劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、ギリシャ国立歌劇場『ロメオとジュリエット』および『ラ・ボエーム』ミミ、ナポリ、アントワープ、ルクセンブルク、モンペリエで『シモン・ボッカネグラ』アメリア、シャンゼリゼ劇場、ウィーン国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、ウィーン国立歌劇場『アルチーナ』、ギリシャ国立歌劇場『マノン』タイトルロール、チューリヒ歌劇場『偽の女庭師』アルミンダなどに出演。今後の予定に、バルセロナ・リセウ大劇場『皇帝テイトの慈悲』ヴィテリア、ボローニャ歌劇場『ルイザ・ミラー』などがある。新国立劇場には 2010 年『フィガロの結婚』伯爵夫人に出演して以来の登場。



【アルフレード】イヴァン・アヨン・リヴァス

Iván AYÓN RIVAS

1993 年ペルー生まれの新星テノール。ペルーの国立音楽院で学んだ後、ファン・ディエゴ・フローレス、エルネスト・パラシオらの指導を受ける。2013 年にペルーのオペラコンクールで第 2 位となり、ペルーで多くのリサイタルに出演。14 年、ドイツのルートヴィヒスハーフェンでファン・ディエゴ・フローレスのチャリティー・ガラ(ファビオ・ルイーゼ指揮スカラ座フィルハーモニー管弦楽団)でデビュー。15 年に第 3 回エッタ・リミティ賞受賞後、トリノ王立歌劇場『ラ・ボエーム』(16 年)、レツジョ・エミーリアおよびモデナ、コモ、ベルガモ、ブレシア、パヴィアでの『椿姫』(16~17 年)、トリノ王立歌劇場『ファルスタッフ』(17 年)と主要劇場へ次々と出演、18 年はフェニーチェ歌劇場とローマ歌劇場で『ラ・ボエーム』、フェニーチェ歌劇場、マチェラータ音楽祭『椿姫』などに出演。18/19 シーズンはフィレンツェ歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場、ローマ歌劇場『リゴレット』マントヴァ公、トリノ王立歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場、トリノ王立歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、フェニーチェ歌劇場、フィレンツェ歌劇場『椿姫』などに出演。今後の予定に、モネ劇場『ジョヴァンニ・ダルコ』カルロと『ばらの騎士』テノール歌手、シュトゥットガルト州立劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ及び『メフィストフェレ』ファウスト、ローマ歌劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』ティバルト及び『椿姫』アルフレード、フェニーチェ歌劇場『リゴレット』マントヴァ公爵などがある。新国立劇場初登場。



【ジェルモン】須藤慎吾

SUDO Shingo

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第 37 回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞、オルヴィエート国際オペラコンクール 2 位(イタリア)などを受賞。1999 年渡伊、各地の劇場にて『椿姫』ジェルモン、『リゴレット』タイトルロール、『オテロ』イアーゴ、『ラ・ボエーム』マルチェッロなどに出演。2006 年帰国し藤原歌劇団に入団。同団で『愛の妙薬』ベルコーレ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『ラ・トラヴィアータ』ジェルモン、『トスカ』スカルピア、『ドン・パスクワーレ』マラテスタ、『カルメン』エスカミーリョ、『道化師』トニオなどに出演。新国立劇場では『椿姫』ドウフォール男爵、『アンドレア・シェニエ』フーキエ・タンヴィル、鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレス、鑑賞教室『トスカ』スカルピアに出演したほか、18/19 シーズンは『蝶々夫人』シャープレス、19/20 シーズンは『ホフマン物語』シュレーミルにも出演予定。国立音楽大学講師、藤原歌劇団団員。



【フローラ】小林由佳

KOBAYASHI Yuka

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。これまでに二期会『ナクス島のアリアドネ』作曲家、『蝶々夫人』スズキ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『ホフマン物語』ニクラウス/ミュージズ、『イドメネオ』イダマンテ、『ばらの騎士』オクタヴィアンびわ湖ホール『リゴレット』マッダレーナ『オテロ』エミーリアなどを演じている。新国立劇場では『沈黙』少年、『魔笛』侍女Ⅱ、『アイーダ』巫女、『ルチア』アリーサ、『椿姫』フローラ、鑑賞教室『蝶々夫人』ケート/スズキ、鑑賞教室・関西公演『フィガロの結婚』ケルビーノに出演。19/20 シーズンは『ホフマン物語』ニクラウス/ミュージズにも出演予定。二期会会員。



【ガストン子爵】小原啓楼

OHARA Keiroh

東京藝術大学卒業。同大学院大学院修了。博士号取得。第 41 回日伊声楽コンクール第 3 位並びに歌曲賞受賞。これまでに、二期会『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、『蝶々夫人』ピンカートン、日生劇場『リア』(日本初演)エドモンド等に出演。2016 年の京都ロームシアターオープニング公演『フィデリオ』フロレスタン、18 年二期会『ローエン格林』タイトルロールではその濃厚な歌唱が高く評価された。19 年には「ロシアにおける日本年」に参加、ウラジオストク及びサンクトペテルブルクのマリインスキー劇場で『夕鶴』与ひょうに出演。新国立劇場では難役『沈黙』ロドリゴで絶賛されたほか、『夕鶴』与ひょう、『鹿鳴館』久雄、『オテロ』カッシオ、『パルジファル』小姓 4、『椿姫』ガストン子爵、『死の都』ガストン/ヴィトリン、鑑賞教室『蝶々夫人』ピンカートンなどに出演。二期会会員。



令和元年度(第74回)文化庁芸術祭協賛公演
 新国立劇場 2019/2020 シーズンオペラ
 ジュゼッペ・ヴェルディ

椿姫

Giuseppe VERDI / La Traviata
 全3幕〈イタリア語上演/日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】 2019年11月28日(木)19:00/12月1日(日)14:00/3日(火)14:00/5日(木)19:00/7日(土)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:27,000円・A:21,600円・B:15,120円・C:8,640円・D:5,400円・Z:1,620円

※10月1日(予定)の消費税引き上げ以後の料金:

S:27,500円・A:22,000円・B:15,400円・C:8,800円・D:5,500円・Z:1,650円

【前売開始】 2019年8月17日(土)

指揮	イヴァン・レプシッチ	ヴィオレッタ	ミルト・パパタナシュ
Conductor	Ivan REPUŠIĆ	Violetta Valéry	Myrtò PAPATANASIU
演出・衣裳	ヴァンサン・ブサール	アルフレード	イヴァン・アヨン・リヴァス
Production, Costume Design	Vincent BOUSSARD	Alfredo Germont	Iván AYÓN RIVAS
美術	ヴァンサン・ルメール	ジェルモン	須藤慎吾
Set Design	Vincent LEMAIRE	Giorgio Germont	SUDO Shingo
照明	ガイド・レヴィ	フローラ	小林由佳
Lighting Design	Guido LEVI	Flora Bervoix	KOBAYASHI Yuka
ムーヴメント・ディレクター...	ヘルゲ・レトニーヤ	ガストン子爵	小原啓楼
Movement Director	Helge LETONJA	Visconte Gastone	OHARA Keiroh
再演演出	澤田康子	ドウフォール男爵	成田博之
Revival Director	SAWADA Yasuko	Barone Douphol	NARITA Hiroyuki
舞台監督	斉藤美穂	ドビニー侯爵	北川辰彦
Stage Manager	SAITO Miho	Marchese D'Obigny	KITAGAWA Tatsuhiko
		医師グランヴィル	久保田真澄
		Dottor Grenvil	KUBOTA Masumi
		アンニーナ	増田弥生
		Annina	MASUDA Yayoi
		ジュゼッペ	中川誠宏
		Giuseppe	NAKAGAWA Masahiro
		使者	佐藤勝司
		Commissionario	SATO Shoji
		フローラの召使	上野裕之
		Domestico di Flora	UENO Hiroyuki

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/latraviata/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,620円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。*未就学児入場不可。

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。

本公演は、レパトリー演目です。宣材として過去の上演の舞台写真をご使用いただけます。



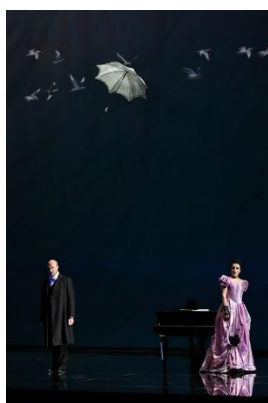
【1】



【2】



【3】



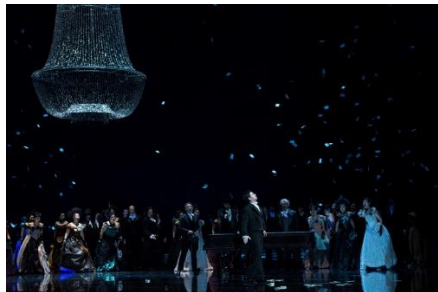
【4】



【5】



【6】



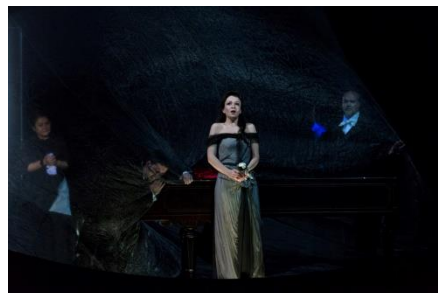
【7】



【8】



【9】



【10】